



昨年から今年にかけて、あの厚底靴が話題となった。それもそのはず陸上長距離界で世界記録の更新が続出したからだ。もしや靴効果？確かに記録者保持者の多くはこの靴を履いての記録であるという。東京オリンピックでこの靴の使用が認められるか否かも話題となったが、世界陸連は流通している靴については認めるという結論を出した。記録への挑戦は、科学への挑戦と共にあるという悩ましい問題でもある。

かつて1960年ローマオリンピックで当時の世界新記録を樹立したエチオピアのアベベ選手は「はだし」での参加だったという。もちろん靴の紐が切れるというアクシデントがあったからだが、2時間15分16秒2という記録は、現在の世界記録からすると10分前後のタイム差はあるものの、見事な記録であった。彼はその後の東京オリンピックでも32歳での金メダルの2連覇を成し遂げたのだった。ただしこの時は「はだし」ではなかったが、2時間12分11秒2だったということである。

ところで、日本には「裸一貫」という言葉があるが、「相撲」はまさに裸一貫で行うスポーツだと言える。「ふんどし」ひとつで、ごまかしのない素の実力の世界を楽しませてくれるスポーツだ。かつては八百長問題や暴力問題も取りざたされ、相撲界にいや気がさしたこともあるが、「相撲」そのものに対する思いに変わりはない。物や道具に頼りすぎないスポーツの世界が日本にはあることを誇りにさえ思うことである。相撲が国技と称される所以もここにあるのかもしれないと思うことだ。



親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要 テーマ

2023年

3月25日(土)～

4月14日(金)

南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう

改めてたずねられて

瑞穂市 Y・T

毎月配布される同朋新聞を読んで考えさせられたことがありました。それは2023年に執り行われる法要のテーマについてです。

「人と生まれたことの意味をたずねていこう」ということですが、私は今まではこのようなことを考えたことがありませんでした。ただ気が付いたらこの世に居て、大きくなつて結婚して子供を産んで、一生懸命に子育てをして、そして年を取り、ここに居るだけだと思っていました。そのすべてが当たり前のことだと思っていました。人と生まれたことに何か特別な意味があるのでしょうか。

正直申しますと私の人生はもうこれで十分に終わったと常日頃思っています。あとは健康に気を配り少しでも長生きをして、自分の人生を楽しみたいと思っただけですが、ただこうして改めて問いかけられてきますと、何となく不安な思いにもなつてきます。

そういえば、お寺さんがお説教のはじめに読み上げられる『正信偈』の赤本の見開きに載っている三帰依文の「人身受け難し、今すでに受くる」の一文が、今となつて思い浮かんでも来ます。「人間として生まれることはとても難しいことなのに、現に私は人間として生まれることができました」ということなのでしょう。そしてその不思議さに思いを深めなさいということを教えられているのでしょうか。

今まで親として妻として、また一社会人として約60数年幾多の苦勞を乗り越えてきた人生には満足していますが、「人として生まれたことの慶び」などいまままで感じたことも考えたこともなかったように思います。

「人と生まれたこと」にどんな意味が込められているのでしょうか。私はいくつかの人生に大きな課題をいただいたような気がいたします。健康で長生きし、最後は「ピンコロ」が理想の人生だと思っていましたが、どうもどこか違うようにも思えてきました。いまさらながらではありませんが、今一度この「いのち」の意味をたずねていきたいと思えます。

今年もありがとうございます。

数限りないご縁をいただきながら、今の精いっぱいをお返せました。多くの参詣、訪問者の方に喜んでいただけたいことを喜んでいきます。また一年が始まりました。散るときも新芽の時もいつでも見ごろが私の「いのち」です。



今年は開花が一週間ほど早かったせいか、梅見の期間も長くなったように思います。不思議なもので梅の咲き始める順番も例年と異なっていました。



昨年は姿を見せてくれなかったメジロ。今年は毎日姿を見せてくれました。

飛龍梅もその一本で、急速に開花が進み、散り始めも早かったように思います。途中雪も降りましたが、寒さの継続は難く、しりびな祭りが始める頃には境内の梅はすっかり盛りを過ぎ、色あせ花びらが風に舞っていました。散り際も美しいものです。

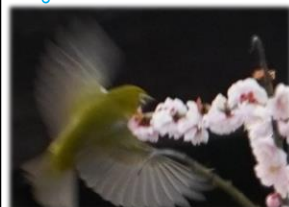


ライトアップは3月7日(土)から2月23日(日)に繰り上げて行いました。

その他の催し つりびな、秀瑤書院展



新たな挑戦。
月並みな趣味ですが、カメラを少しかじり始めました。そのきっかけはメジロでした。この時期になるとメジロが境内にやってきますが、なかなか気に入った写真が撮れません。ましてや飛んでいるメジロを撮るのは至難の業です。どうしても飛んでいるメジロを撮りたいのです。これがきっかけと言えばきつかけです。同じ趣味を持つていらつしゃる方がいましたら是非ご指南ください。ピンぼけ作品。これ一枚だけが撮れた結果でした。



春季永代経は取りやめとなりました。

「コロナウイルスによる感染拡大が心配されることから、まことに申し訳なく思っておりますが、止む無く取りやめることを決断いたしました。何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。

住職 拝

今日の掲示板

しつこく
道とはかねて
聞きしかど
昨日今日とは
思わざりしを
古今和歌集
在原業平

人間は誰もいつかは死ぬということを知っています。自分も例外ではないことも知っています。まだ先の事として「一日一日をただ何となく、平く過してしまっています。」
「今この時が迫り来た時、「えっ」「うな」といかに不意にその時が訪れたかのように慌てふためくことになるのです。」